

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 7 区分  
【発行日】平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)

【公開番号】特開 2005-206374 (P2005-206374A)  
【公開日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)  
【年通号数】公開・登録公報 2005-030  
【出願番号】特願 2004-333299 (P2004-333299)  
【国際特許分類】

**B 6 5 H 37/04 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 H 37/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 13 日 (2007.11.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成装置から出力されたシートを装置本体内に搬送するシート搬送手段と、  
前記装置本体内に搬送された複数の前記シートを、シート束としてステープル処理を施す後処理手段と、

前記後処理手段によるステープル処理の開始後、前記ステープル処理の動作状態に基づいて、該ステープル処理の開始後の所定期間において前記後処理手段を駆動するために前記後処理手段に供給される電力を制限する駆動電力制限手段と、

前記シート束へ前記ステープル処理を行った後、該後処理されたシート束を積載するシート束積載手段と

を具えたことを特徴とする後処理装置。

【請求項 2】

前記駆動電力制限手段は、

前記ステープル処理の開始直後からの所定期間において、前記電力を制限するための電流値を設定することを特徴とする請求項 1 記載の後処理装置。

【請求項 3】

前記ステープル処理の開始直後からの所定期間は、前記ステープル処理のために前記後処理装置を駆動するモータの起動開始直後において前記電力を制限する期間であることを特徴とする請求項 2 記載の後処理装置。

【請求項 4】

前記駆動電力制限手段は、

前記ステープル処理の開始直後からの複数の所定期間において、前記電力を制限するために、それぞれ異なる電流値を設定することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかの項に記載の後処理装置。

【請求項 5】

前記駆動電力制限手段は、

前記後処理手段の異常復帰動作開始からの所定期間において、前記電力を制限するための電流値を設定することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかの項に記載の後処理装置。

【請求項 6】

前記駆動電力制限手段は、

前記画像形成装置に接続される他の装置の動作状態に基づいて、前記電力を制限するための電流値を設定することを特徴とする請求項１～４のいずれかの項に記載の後処理装置。

【請求項７】

前記駆動電力制限手段は、

前記ステープル処理の基準位置となるホームポジションを検知しているか否かを判定し、判定結果に基づいて、前記電力を制限することを特徴とする請求項１記載の後処理装置。

【請求項８】

電子写真式の画像形成装置を備えた画像形成システムであって、

前記画像形成装置の後段に、請求項１記載の後処理装置を接続して構成したことを特徴とする画像形成システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】後処理装置、および、画像形成システム

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、画像形成（記録）装置に接続するステープラやパンチャーなどにおける後処理制御および駆動時の駆動信号の制御処理を行うことが可能な、後処理装置、および、画像形成システムに関する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

そこで、本発明の目的は、駆動信号（例えば、駆動電流）のピーク値を低減し、電源の負荷を低減させることが可能な、後処理装置、および、画像形成システムを提供することにある。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

本発明の他の目的は、後処理動作時の駆動信号のピーク値の制限期間を、複数の期間に分けて設定することにより、駆動信号のピーク値を後処理部の状態に対応して低減させることが可能な、後処理装置、および、画像形成システムを提供することにある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 4 】

本発明の他の目的は、後処理部の動作速度を低減して、後処理作用部材の動作音の低減を図ることが可能な、後処理装置、および、画像形成システムを提供することにある。

## 【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 1 5 】

本発明は、画像形成装置から出力されたシートを装置本体内に搬送するシート搬送手段と、前記装置本体内に搬送された複数の前記シートを、シート束としてステープル処理を施す後処理手段と、前記後処理手段によるステープル処理の開始後、前記ステープル処理の動作状態に基づいて、該ステープル処理の開始後の所定期間において前記後処理手段を駆動するために前記後処理手段に供給される電力を制限する駆動電力制限手段と、前記シート束へ前記ステープル処理を行った後、該後処理されたシート束を積載するシート束積載手段とを具えたことを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 8 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 1 6 】

前記駆動電力制限手段は、前記ステープル処理の開始直後からの所定期間において、前記電力を制限するための電流値を設定することを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 9 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 1 7 】

前記ステープル処理の開始直後からの所定期間は、前記ステープル処理のために前記後処理装置を駆動するモータの起動開始直後において前記電力を制限する期間であることを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 1 0 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 1 8 】

前記駆動電力制限手段は、前記ステープル処理の開始直後からの複数の所定期間において、前記電力を制限するために、それぞれ異なる電流値を設定することを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 1 1 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 9

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 1 9 】

前記駆動電力制限手段は、前記後処理手段の異常復帰動作開始からの所定期間において、前記電力を制限するための電流値を設定することを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 1 2 】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0020  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0020】

前記駆動電力制限手段は、前記画像形成装置に接続される他の装置の動作状態に基づいて、前記電力を制限するための電流値を設定することを特徴とする。

【手続補正13】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0021  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0021】

前記駆動電力制限手段は、前記ステープル処理の基準位置となるホームポジションを検知しているか否かを判定し、判定結果に基づいて、前記電力を制限することを特徴とする。

【手続補正14】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0022  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0022】

本発明は、電子写真式の画像形成装置を備えた画像形成システムであって、前記画像形成装置の後段に、上記記載の後処理装置を接続して構成したことを特徴とする。

【手続補正15】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0023  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正16】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0024  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正17】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0025  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正18】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0075  
【補正方法】削除  
【補正の内容】